

コンピュータチェック事例コード

48SJ990631602

コンピュータチェック内容

同日に局所麻酔剤及び麻酔料の算定がなく、デブリードマン又はデブリードマン加算が算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

デブリードマン又はデブリードマン加算は、汚染された挫創に対して行われるブラッシング又は汚染組織の切除等であって、通常麻酔下で行われる程度のものを行ったときに算定するとされています。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	山形、鳥取、兵庫、石川、新潟、広島、茨城、福岡、青森、栃木	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	兵庫、山形、広島、茨城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	青森、茨城、鳥取、兵庫、栃木、新潟、福岡、山形、石川、広島	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・診療内容及び摘要欄のコメント等より、薬価15円以下の局所麻酔剤を使用していることから、妥当と判断した事例

■コンピュータチェック根拠と異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒審査委員長から連絡・再周知

2023年9月～2024年5月審査分

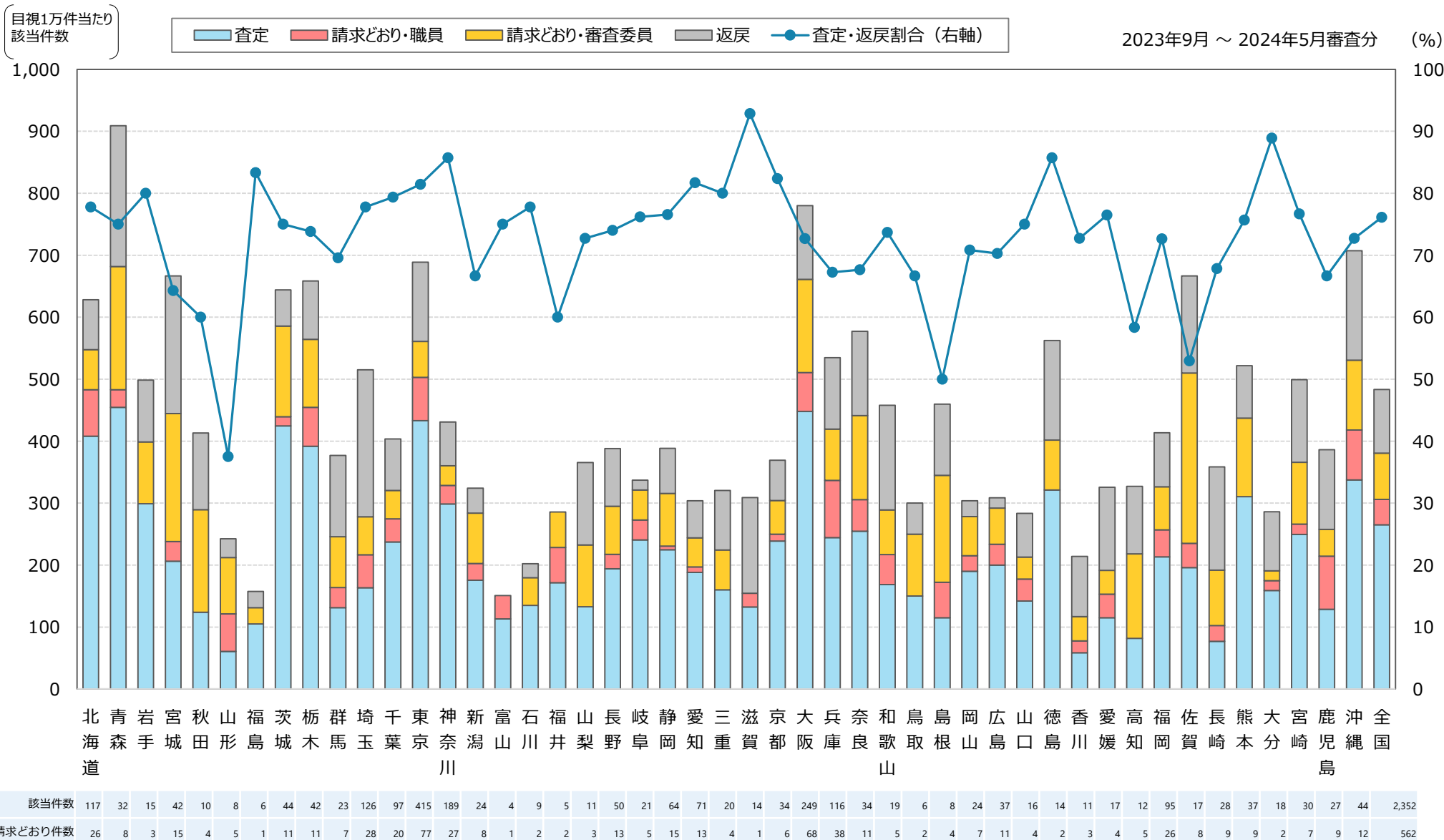
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,352件のうち、コンピュータチェック根拠と異なる審査は164件（6.97%）
 検証対象44都道府県のうち、フォローアップ対象は10都道府県

		検証結果										
都道府県		該当件数	コンピュータチェック根拠に基づく適正な審査						コンピュータチェック根拠と異なる審査			
			適正審査合計	適正審査の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等から適正				
					査定	返戻	査定返戻計		異なる審査合計	異なる審査の割合	職員	審査委員
01	北海道	117	114	97.44%	76	15	91	23	3	2.56%	3	0
02	青森	32	27	84.38%	16	8	24	3	5	15.63%	0	5
03	岩手	15	15	100.00%	9	3	12	3	0	0.00%	0	0
04	宮城	42	42	100.00%	13	14	27	15	0	0.00%	0	0
05	秋田	10	10	100.00%	3	3	6	4	0	0.00%	0	0
06	山形	8	5	62.50%	2	1	3	2	3	37.50%	1	2
07	福島	6										
08	茨城	44	36	81.82%	29	4	33	3	8	18.18%	1	7
09	栃木	42	37	88.10%	25	6	31	6	5	11.90%	0	5
10	群馬	23	23	100.00%	8	8	16	7	0	0.00%	0	0
11	埼玉	126	120	95.24%	40	58	98	22	6	4.76%	1	5
12	千葉	97	92	94.85%	57	20	77	15	5	5.15%	2	3
13	東京	415	403	97.11%	261	77	338	65	12	2.89%	9	3
14	神奈川	189	177	93.65%	131	31	162	15	12	6.35%	3	9
15	新潟	24	19	79.17%	13	3	16	3	5	20.83%	0	5
16	富山	4										
17	石川	9	7	77.78%	6	1	7	0	2	22.22%	0	2
18	福井	5	5	100.00%	3	0	3	2	0	0.00%	0	0
19	山梨	11	10	90.91%	4	4	8	2	1	9.09%	0	1
20	長野	50	48	96.00%	25	12	37	11	2	4.00%	2	0
21	岐阜	21	19	90.48%	15	1	16	3	2	9.52%	1	1
22	静岡	64	59	92.19%	37	12	49	10	5	7.81%	1	4
23	愛知	71	70	98.59%	44	14	58	12	1	1.41%	1	0
24	三重	20	18	90.00%	10	6	16	2	2	10.00%	0	2

		検証結果										
都道府県		該当件数	コンピュータチェック根拠に基づく適正な審査						コンピュータチェック根拠と異なる審査			
			適正審査合計	適正審査の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等から適正				
					査定	返戻	査定返戻計		異なる審査合計	異なる審査の割合	職員	審査委員
25	滋賀	14										
26	京都	34	32	94.12%	22	6	28	4	2	5.88%	1	1
27	大阪	249	235	94.38%	143	38	181	54	14	5.62%	14	0
28	兵庫	116	81	69.83%	53	25	78	3	35	30.17%	17	18
29	奈良	34	31	91.18%	15	8	23	8	3	8.82%	3	0
30	和歌山	19	19	100.00%	7	7	14	5	0	0.00%	0	0
31	鳥取	6	4	66.67%	3	1	4	0	2	33.33%	0	2
32	島根	8	8	100.00%	2	2	4	4	0	0.00%	0	0
33	岡山	24	24	100.00%	15	2	17	7	0	0.00%	0	0
34	広島	37	30	81.08%	24	2	26	4	7	18.92%	3	4
35	山口	16	16	100.00%	8	4	12	4	0	0.00%	0	0
36	徳島	14	14	100.00%	8	4	12	2	0	0.00%	0	0
37	香川	11	10	90.91%	3	5	8	2	1	9.09%	0	1
38	愛媛	17	16	94.12%	6	7	13	3	1	5.88%	0	1
39	高知	12	12	100.00%	3	4	7	5	0	0.00%	0	0
40	福岡	95	80	84.21%	49	20	69	11	15	15.79%	0	15
41	佐賀	17	17	100.00%	5	4	9	8	0	0.00%	0	0
42	長崎	28	28	100.00%	6	13	19	9	0	0.00%	0	0
43	熊本	37	37	100.00%	22	6	28	9	0	0.00%	0	0
44	大分	18	17	94.44%	10	6	16	1	1	5.56%	0	1
45	宮崎	30	30	100.00%	15	8	23	7	0	0.00%	0	0
46	鹿児島	27	25	92.59%	9	9	18	7	2	7.41%	0	2
47	沖縄	44	42	95.45%	21	11	32	10	2	4.55%	0	2
全国		2,352							164	6.97%	63	101

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数